

単元名：

「手は語る」

(全 12 時間扱い中 第 4 時)

授業日時 2021 年 6 月 23 日 (水) 第 5 校時

授業学級 3 年 C 組

授業会場 美術室

授 業 者

指 導 者

(1) 主眼 (授業の手立て & ねらい)

手を描いてきた子どもたちが、描いた手をより効果的に魅せるためにはどうするかを考える場面で、モダンテクニックを体験することを通して、自分の思い描く作品のイメージに近づけることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導 入	1. 黒板に並べられた技法を見て、示された手に合うものはどれかを考える。	◎スパッタリングを背景にすると、手のカクカクした形に合わなそうだ。 ◎一番右にあるのが好きだな。 ◎どれも同じに見えるよ。	「黒板に貼ってある3つの背景を見てく ださい。この私が持っている手にはこの 中のどれが似合うと思いますか？」【黒 板に並べられた3つの絵、描かれた手】 ※一つずつ描かれた手を多様な角度で あてていく。 ※後ろの席の生徒にも見えるようプロ ジェクターで映す。 「今回の授業では、この3つの技法から 一つ、自分が描いた手をより良くする と思った技法を試してみましょう。」	3
	【学習課題】“自分を表す手”を引き立てるモダンテクニックを探そう。			

展開	2. 3つの技法の仕方について学ぶ。	◎色の出方が面白いな。 ◎この描き方，見たことある。 ◎筆を振りたい。	「3つの技法について説明します。」 ※ドリップングについて，以下のことを押さえておく。 ・水分量を多くする。 ・筆を振る描き方と垂らす描き方があり，筆を振る方を用いる場合は外に出て行う。 ※スパッタリングについて，以下のことを押さえておく。 ・絵の具と水を一對一で混ぜる。 ・距離は7～8 cm程度で行う。 ・一方向に行う。 ・1回した後に網の目の詰まりが3，4割程度になれば正しく描けている。 「マーブリングは注意事項が多いので，別れた後に実践します。どれにしようか迷っている人も見に来てください。」 「それでは自分の手に似合いそうだと思う技法を一つ試してみましょう。」 ※【2枚のA5の紙】を配布し，氏名を裏面に書くように指示する。 ※場所の指示を行い，活動を開始するよう伝える。 「今からマーブリングの説明をします。見えるところに集まってください。」 ※マーブリングについて，以下のことを押さえておく。 ・バットに3分の1程度の水を張り，水面が落ち着くまで待つ。 ・マーブリング液は使いたい色に対して1滴のみ垂らす。 ・色は2色使うことをお勧めする。（多くの色を使ってもよい。） ・竹串で優しく混ぜて模様を作る。 ・紙の端を持ち，水面に向かってゆっくり下げる。 ※机間指導を行う。苦戦している生徒には，実演を交えながら技法のポイントを押さえられるようにする。 ※色によっても印象が変わることを伝える。	2
	3. 自分の手に合いそうな技法を一つ決定し，その技法に挑戦する。	◎まだよく分からないからマーブリングの仕方を見てから決めようかな。 ◎なんとなくスパッタリングが合いそう。 ◎簡単そうだからドリップングにする。 ◎全体に色が広がるのが自分の手に合いそう。 ◎手を放すときが難しい。 ◎注意することは何だったかな。 ◎何色にしようかな。 ◎3色使った方が手に合いそう。他の技法もしてみたい。 ◎きれいに色が出たよ。		30
終末	4. 片付けをする。		※片付けの指示を行う。	10

【本時の評価（評価する対象）】

“自分を表す手”をより効果的に魅せるモダンテクニックはどれか考え，自分の思い描くイメージを持ちながら試することができる。（態度）